

東京れんめい

編集・発行／東京都看護連盟 発行責任者／長尾眞澄
〒150-0001東京都渋谷区神宮前一丁目10番34号原宿コーポ別館508号室
電話03-3796-0270 FAX03-3796-0271 E-mail:shiburen@ga3.so-net.ne.jp

第24号



新人研修で国会見学し、記念撮影。臨床の場で不安もあろうが、希望に向かって生き生きと輝いている顔、この輝きを持ち続けられるよう皆で応援して行こう。



東京都看護協会
会長 嶋森 好子

六月十四日に開催された日本看護連盟総会に出席しました。坂本協会長も来賓として挨拶をされましたが、清水連盟会長と異口同音に、連盟が、看護協会の政策実現に向けた政治活動を行う団体として設



東京都看護連盟
会長 長尾 眞澄

暑中お見舞い申し上げます、会員の皆様お元気ですか。日頃は連盟活動にご支援を頂き心からお礼申し上げます。東日本大震災で亡くなられた方々に哀悼の意を表し、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。義援金、特定物資のご支援有難うございます、この活動は継続して参りますので皆様宜しくお願い致します。

高階恵美子参議院議員は「医療班」「災害対策議員」の中心で活躍されています。

四月の統一地方選挙は高階恵美子議員がお世話になった先生方の応援を致しました、皆さま有難うございました。

六月二十五日東京都看護連盟通常総会は無事終了いたしました。今年度は二十五年度実施の第二十三回参議院選挙に向けての審議を致しました。会員お一人おひとりが連盟の精神をご理解、行動できる支部組織、施設連絡員の地道な活動を進めたいと考えております。

役員会、各委員会は、細部に亘る計画を致しました、会員のご意見も頂戴して活動を展開致します。働き甲斐と、生きがいのある職場作りに政策が必要です、ご協力をお願い致します。

立された事を強調されました。続いて、来賓の挨拶がありました。その多くは自民党の重鎮の方で、自民党の政策説明会のような政治状況において、看護の専門性を高める政治活動はいかにあるべきかが問われていると感じました。都看護連盟でも、今後の在り方についての検討が必要ではないかと思われました。



日本看護連盟会長
清水 嘉与子

「東京連盟」24号に寄せて

7月1日から本格的な節電の夏が始まりました。毎日30℃を超える暑さが続きます。熱中症対策のためにも、無理のない節電で乗り切ってくださいますように。

看護協会総会で会長が交代し、翌週行われた看護連盟総会では坂本新協会長が連盟との協力関係の重要性を延べられるなど、協会・連盟関係は新しい時代に入りました。

菅政権がますます混迷を深めているようですが、看護連盟としては今後の政治情勢に目を配りつつ、超高齢社会を迎えるわが国で、看護職が貢献できる看護政策実現のために、国政の場へ看護の代表を送るという活動を引き続き進めなければなりません。どうぞ支部活動の一層の活性化にご努力をお願い申し上げます。



衆議院議員
あべ 俊子

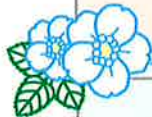
「東京連盟」24号に寄せて

東日本大震災で被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

被災直後、行政は混乱し、被災地の情報が正確に把握できない中、私にとって大きな力となったのが、全国の看護職から寄せられた被災地域の詳細な情報でした。「全国に仲間がいる」、私はあらためて看護職のネットワークの大きさを感じながら、党内の緊急災害対策

本部の医療班として被災地への支援に携わらせていただくことができました。

全国の看護職の皆様からのご支援に心より感謝申し上げますとともに、いつも献身的で努力を惜しまない看護職の皆さんにこそ日本が元気になる鍵がある！と、私は大いに期待をしております。どうかみんなで力を合わせて、この国難を乗り越えていけるよう共に頑張ってください！がんばろう日本、必ず復興します！



参議院議員
たかがい 恵美子

「東京連盟」24号に寄せて

3.11に発生した平成の国難は今だ進行中です。この間、看護職の皆様には過酷な惨状にひるむことなく、また苛酷な業務にも労苦をいとわず、日々たゆまぬ努力でご支援を続けていただいております。みなさまの深い思いやりと真摯な活動姿勢に、衷心より感謝を申し上げます。

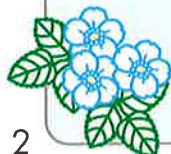
さて、「"ひとの生きる力を守る"看護のパワーを"社会の生きる力を創り出す"政治へと活かす」第一歩を踏み出した日から一年が経ちました。以来、参議院議員として最初の臨時国会では自らの歳費を削減する法案を決議し、続く厚生労働委員会の初質問では看護界の現在・過去・未来に共通する構造的な課題を明示し、次代に対応できる新たな社会保障体系を構築する政策の立案を急ぐよう提案しました。

同時に党では、女性局長代理として全国約39万人に及ぶ自民党女性たちの意見を集約して組織の活

性を図る任務にあたっています。年明け3月4日には、厚生労働部会と同部会看護問題小委員会合同による「穏やかな最期を保障するコミュニティづくり」に関する中間報告をとりまとめました。さらに看護職の先輩たち仲間たちが長年培ってきた看護問題対策議員連盟（看護連）については、会員拡大を図り、同僚議員等とともに各地の看護の現場へお邪魔してご意見を頂戴するなど、実際の業務を見て解決策を考えていただく活動も始めました。

人々の健康的な暮らしを実現するために必要な看護職だからこそ言えること、やらねばならないことが山積しています。大震災の残痕から、愛する故郷日本の暮らしを取り戻す戦いもまた、この時代に生きる私たちに与えられた試練の一つと受け止めています。

みなさまとともに、我らが行く先をしっかりと見据えて、地に足の着いた活動を心がけて参ります。



平成23年度 東京都看護連盟通常総会開催

日 時：平成23年6月25日(土) 14:00~17:00

場 所：新宿明治安田生命ホール

参加者：来賓22名 会員168名



会長
長尾 真澄



江戸川区議会議員
片山 知紀様



東京都議会議員
三宅 しげき様



参議院議員
中川 雅治様



日本看護連盟
常任幹事 竹澤 良子様

特別講演

【こころ豊かな食卓】

講師：浄土宗西居院21代住職

廣中邦充



平成23年度活動計画

大目標

第23回参議院議員選挙で6,000票を確保する

1. 地域に根付いた活動を促進する
2. 看護管理者への政治参加を促進する。
3. 若手会員、無関心看護職の政治活動を促進する

東京都内就業者の特徴(若年者が多い、就業者が流動する、近県からの通勤者が多い等)をふまえて、目標を定める

項目	目 標	活 動
政治力の強化	1 看護現場の課題を社会に伝える	・施設訪問など多くの機会をとらえて現場の問題を把握する
	2 得票数の増大に努める	・支部毎に獲得目標数を定め関係者に周知を図り計画及び実践計画を立て実行する
組織の強化	1 組織活動の強化、拡大	
	2 組織体制の整備	
	1) 広く都内従事者に連盟加入を呼びかける	・大中小医療機関、保健福祉施設、教育機関と幅広く勤める
	2) 支部の設置拡大と支部組織の充実	・支部の設置を施設単位、地域単位(小規模施設)でネット化 ・支部毎に支部長のもとに施設連絡員を組織化する
	3 会員の獲得及び定着	
	1) 新規採用者の教育、加入のピーアール	・新採用者院内研修向け冊子の送付(できれば説明会開催)
	2) 看護基礎教育で医療・看護の充実改善の政策実現との関わりについて、専門職業人として看護協会、連盟など専門職能団体に所属し活動することの意義と使命について理解を深める	・学校を訪問し、教官の理解を得るとともに学生への指導に生かしていただく
	3) 施設訪問	・地区理事、支部長が中心となって地区ごとに計画的に実施。役員と支部長らが訪問する
	4) 研修会時など人の集まる機会に連盟入会案内を積極的に配布し、入会を勧める	
	5) 男性会員の確保	・研修の実施など
	4 他団体との連携を密にする	・東京都看護協会、各種女性団体連合会、自由民主党東京都連
	5 各選挙に積極的に参加する	
	1) 衆議院選挙や地方選挙の活動に積極的に参加する	・地方選挙を積極的に手伝い、連盟の存在感をアピールすると共に役員や会員の経験を高める
6 研修活動の推進		
1) 新人研修会	・年2回	
2) 基礎研修	・研修の都度「日本看護連盟ハンドブック」の活用	
3) 統・基礎研修	・基礎研修修了者を対象とする	
4) リーダー研修(連絡員、支部長)	・政策過程入門「目標達成のために自分はどう動くのか・・・」	
※【都と本部が共催】	・選挙のノウハウ等「支部毎の目標を達成するために自分はどう動くのか」	
5) 看護部長ワークショップ、看護教育セミナー	・看護管理者等の政策過程参加	
6) 若手会員研修会、一般会員研修会、OB懇親会等	・従来通り都、支部が主催	
7) 新支部長研修	・従来通り都、支部が主催	
8) 青年部の活動支援	・定期的会議の開催と講演会、研修会など事業の実施	
7 賛助会員の獲得	・地方有力者、家族、知人、看護職OB等に働きかける	

項目	目 標	活 動
広報活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 会員及び社会への広報活動の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1) 本部の機関誌「アンフィニ」により情報提供 2) ホームページの運営 3) 「東京れんめい」の活用 2 会員及び社会へ看護連盟活動についての情報発信や意見交換を通し、連盟活動を活性化する 3 看護連盟や代表議員に関するビデオを研修会等で活用する 4 友好団体との連携をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・入会を促進するために新人オリエンテーション等で配布 ・会員及び未加入者に配布し連盟活動について理解を深める ・賛助会員へ配布し情報提供し連盟の関心を高める ・代表議員の国会活動を適宜紹介する
国会や都議会に要望事項を提案し、改善を働きかける	<ol style="list-style-type: none"> 1 会員の声を政策提言に活用する 2 地方議会への影響力を高める 3 東京都看護連盟の知名度を上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、機関誌などに会員の声を掲載する ・「現場の声」を国会議員や看護協会等の政策立案に役立たせる ・東京都看護連盟の政治力を強化する ・地方議員当選時の祝電 ・地方議員支援体制の強化（選挙応援、活動応援、地域活動等を通し）
東京都議会、区議会等へ送るための活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 参議院へ看護組織代表を継続的に送り出す <ol style="list-style-type: none"> 1) 代表の選出（候補者の発掘・育成） 2) 支部ごとの獲得票を目標として明確にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員立候補ガイドブックの活用（本部作成） ・政治アカデミーに人材推薦 ・目標達成を意識した日常活動
運営に関する会議	<ol style="list-style-type: none"> 1 総会 2 四役会 (会長、副会長、幹事長、財政幹事、監事) 3 役員会 (四役会メンバー、幹事、監事、地区理事) 4 支部長会 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回(6月) ・月1回以上(第2木曜日) ・月1回以上(第2木曜日) ・月1回以上(第3金曜日)
会員の福祉	<ol style="list-style-type: none"> 1 慶弔関係 2 諸問題等の相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害見舞、物故者への弔意規定により実施 ・業務上の事故、医療過誤等

【平成23年度 新人研修】

第1回 5月13日（金） 自由民主党会館 参加人数101名

第2回 5月20日（金） 自由民主党会館 参加人数97名

テーマ「看護技術とコミュニケーション」

講師：静岡県立大学

看護学研究科教授 紙屋克子先生



国会見学



【男性対象研修】

5月28日（土）東京都看護協会 参加人数114名

テーマ「救急対応とフィジカルアセスメント」

講師：杏林大学医学部附属病院

看護部長 道又元裕先生



参加者の意見：

- ・給与の増額も期待したいが、子育てに父親として積極的に関わりたい男性看護師も多くいます。夜勤や育児休暇など男性が取得しやすい環境を作っていただけたらと思います。
- ・法律を変える側にも興味を持ちました。

施設連絡員・代議員研修会（懇親会）

6月11日（土） 芝パークホテル 15:00～17:00 参加者84名



発表者：南部地区グループ
中橋 一子 氏



発表者：中部地区グループ
大熊 尚人 氏

【平成23年度 東京都看護連盟 研修予定】

	日 時	研 修 名	講 師
1	9月3日(土) 13:30～15:30	夫の看とりから見えてきた看護の課題	聖路加看護大学 名誉教授 岩井郁子
2	9月17日(土) 13:30～15:30	臨床における医療安全について	日本大学医学部付属練馬光が丘病院 医療安全管理者 駒木根由美子
3	10月1日(土) 10:30～14:00	OB研修会 被災地を訪問して	日本看護連盟 会長 清水嘉与子
4	10月1日(土) 13:30～15:30	救急時における フィジカルアセスメント(基礎編)	杏林大学医学部付属病院 看護部長 道又元裕
5	10月14日(金)15日(土) 10:00～17:00	役員・支部長・施設連絡員 支部ごとの獲得目標数および戦略の確定	日本看護連盟役員
6	11月11日(金) 18:00～20:00	組織で守る事故防止	東京都看護協会 会長 嶋森好子
7	11月19日(土) 13:30～15:30	救急時における フィジカルアセスメント(応用編)	杏林大学医学部付属病院 看護部長 道又元裕
8	11月28日(月) 10:00～17:00	役員・支部長・施設連絡員／リーダーを対 象とした自主性を促進させるセミナー	日本看護連盟 常任幹事 阿津公子
9	12月17日(土) 10:00～16:00	リンパ療法について(基礎編)	社会保険看護研修センター (リフレクソロジスト・リンパ療法士)辻谷洋子
10	1月21日(土) 10:00～16:00	リンパ療法について(応用編)	社会保険看護研修センター (リフレクソロジスト・リンパ療法士)辻谷洋子
11	2月予定	化学療法(血液疾患の患者)・人工呼吸器 装着中の患者の口腔ケアについて	交 渉 中
12	日時未定	災害看護について(仮題)	交 渉 中

まちかどの保健室

トリアージ(仏語で仕分け) 極限状態の中で最重症者を瞬時で評価



災害時のトリアージの目的は、限られた資源で医療の空白を無くし一人でも多くの命を救うことにある。現場では多数の傷病者が殺到する。災害や事故は市民生活の中で起こり、その場にいる人が治療の必要と優先順位を判断。看護職の場合は、保助看法解釈、緊急事態として対応する。

呼吸、循環、意識を生理学的に緊急度と重症度で判断する。(バイタルサイン、毛細血管再充満時間の観察、傷病者のサインなど)

続いて訓練されたトリアージの継続が必要、トリアージは極限状況下で最善を尽くした正しい結果であり、後に赤か黒か話題になる事がある、日ごろから学習と事例で訓練を要する。パブリックにも

ご理解をいただきたい。

- ①傷病者が救出されたらトリアージを行う
- ②トリアージタグに規定の情報を記入し体に装着する(ボールペンで)
- ③必要な救急処置をする
- ④適切な医療機関に搬送する(分散して)
(トリアージは発災時、救護所、搬送時、病院)

引用文献 山崎達枝 災害現場でのトリアージ

日本看護協会出版会2009,11,1 p15

参考文献 奥寺敬著 救急外来トリアージ実践マニュアル

メディカ出版 EMERGENCY CARE2010夏季増刊

文責 長尾真澄

トリアージのプロトコール

優先度	分類	色別	区分	疾病状況	診断
第1順位	緊急(最優先)治療群	赤	I	生命・四肢の危機的状況で、直ちに処置が必要	気道閉塞または呼吸困難、重症熱傷、心外傷、大出血、ショック
第2順位	準緊急(待機的)治療群	黄	II	2~3時間処置を遅らせても悪化しない程度 バイタルサインが安定している	熱傷、多発骨折、脊椎損傷、合併症のない頭部外傷
第3順位	保留(軽症)群	緑	III	軽度外傷、通院加療が可能程度	小骨折、外傷、精神症状を呈するもの
第4順位	死亡群、治療・搬送待機群	黒	0	生命徴候がない	死亡、明らかに生存の可能性がないもの



研修会のお知らせ

9月3日(土) 13:30~15:30 場所:東京都看護協会
演題 「夫の看取りから見えてきた看護の課題」
講師 聖路加看護大学 名誉教授 岩井郁子

9月17日(土) 13:30~15:30 場所:東京都看護協会
演題 「臨床における医療安全」
講師 日本大学医学部付属練馬光が丘病院
専従医療安全管理者 駒木根由美子

10月1日(土) 10:30~14:00 場所:京王プラザホテル
OB研修会 演題 「被災地を訪問して」
講師 日本看護連盟 会長 清水嘉与子

10月1日(土) 13:30~15:30 場所:東京都看護協会
演題 「救急時におけるフィジカルアセスメント」
講師 杏林大学医学部付属病院 看護部長 道又元裕

【編集後記】
残暑の候、会員の皆様にはお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。二十三年度は、編集委員に新メンバーを加えさらに新しい情報の発信に務めたいと考えています。二十四号は総会も終わり活動計画に沿って、研修等を中心に広報します。ホームページも合わせてご覧いただきたいと思います。

委員長 相談役
委員 〃〃〃
委員 〃〃〃

【編集委員】
山寄住 牧一洋 中橋早見 松本節子 菅野ゆき 前田